

妙一尼御前御消息

御書新版 1696頁 1行目〜3行目
御書全集 1253頁 16行目〜17行目

(冬は必ず春となるの事)

法華經を信ずる人は冬のごと

し。冬は必ず春となる。いまだ昔

よりきかみず、冬の秋とかえれ

ることを。いまだきかみず、法華經

を信ずる人の凡夫となることを。

經文には「もし法を聞くことあら

ば、一人として成仏せざることな

けん」ととかれて候。

通解

法華經を信じる人は冬のようなものである。冬は必ず春となる。昔から今まで、聞いたことも見たこともない、冬が秋に戻るといふことを。

(同じように) 今まで聞いたことがない、法華經を信じる人が仏になれず、凡夫のままにいてることを。

經文には「もし法を聞くことがあれば、一人として成仏しない者はいない」(法華經方便品第2)と説かれています。